

第6章 パートナーシップが支えるまちの実現

関連するSDGs



現在の環境問題は、区民や事業者が一体となって日々の生活・事業活動のあり方を改善していかなければ解決できないものが増えてきています。そのためには、環境行政だけではなく、区全体における環境保全への関心や参加意欲の向上、環境保全行動を担う人材や組織の発掘・育成、さらには、今後展開が期待される協働による取り組み体制の基盤づくりなどが必要です。区では、区民団体や事業者などの参加や協働による取り組みを推進し、また、各団体との連携・協力を進め、区全体の環境保全活動の活性化を図っていきます。

第1節 区民との協働による環境活動の推進

1 全区民参加型環境保全キャンペーン

図2-6-1は全区民参加型環境保全キャンペーン（「板橋クリーン作戦」「ポイ捨て防止キャンペーン」「打ち水キャンペーン」）の参加者合計数の変化を示したグラフです。年間25,000人以上が参加し、環境活動を行いました。

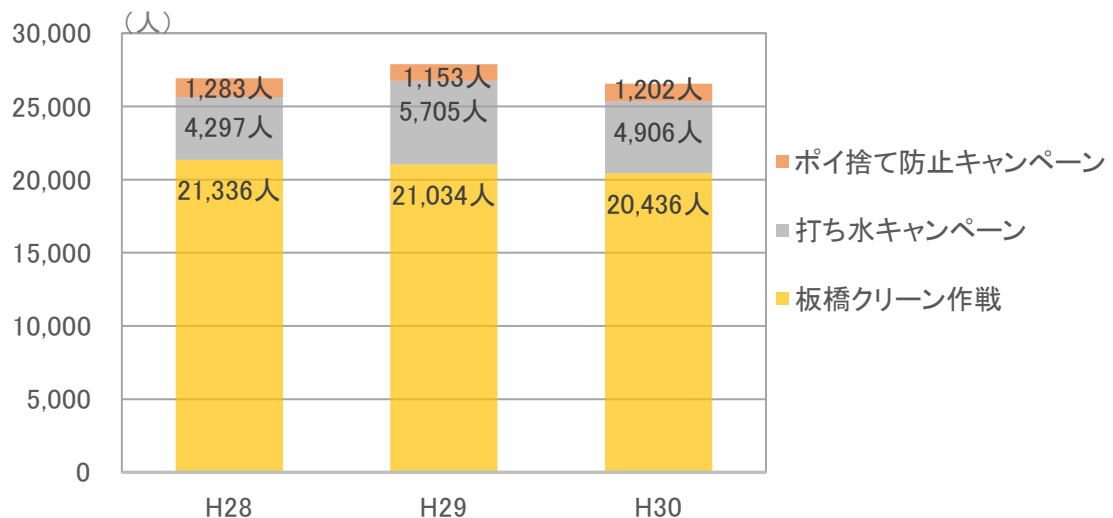


図2-6-1 全区民参加型環境保全キャンペーン参加者

2 エコポリス板橋クリーン条例

板橋区は、1998（平成10）年10月にごみのポイ捨て等を防止し、地域の環境美化活動や区民の良好な生活環境を確保することを目的として、「エコポリス板橋クリーン条例」を制定しました。この条例では、「ごみのポイ捨て」、「公共の場所への落書き」及び「犬のふんの放置」の禁止など環境美化項目と地球環境への配慮事項として「焼却行為の禁止」と「不要なアイドリングの停止」を規定しています。さらに、区民等の責務として「自分たちのまちは自分たちの手できれいにしていく」という姿勢を明確に打ち出しています。

“きれいなまち板橋”をつくっていくためには、“ごみのポイ捨てをしない”というあたりまえのことを誰もが認識し、自宅の周りや会社の周辺は自分たちの手できれいにしていくという区民の方々の積極的な取り組みが必要です。

その後、2004（平成16）年3月に、歩きタバコや吸い殻のポイ捨てなど迷惑喫煙行為を防止し、清潔で快適な住環境を保全する目的で、「エコポリス板橋クリーン条例」を一部改正しました。同年7月からは、道路や公園など公共の場所では、“歩きタバコをしないように努めること”と“吸い殻などのポイ捨て行為”を禁止しました。さらに、特に人通りの多い駅周辺や混雑している商店街など、路上での喫煙行為により他の歩行者に対して迷惑や危険が及ぶ恐れのある区域を「路上禁煙地区」として指定できるよう規定し、2004（平成16）年10月1日に、「成増駅周辺」「上板橋駅周辺」「大山駅・区役所周辺」を「路上禁煙地区」に指定しました。この地区内では、終日道路上での喫煙と吸い殻のポイ捨て行為が禁止され、巡回パトロールにより指導・啓発を行っています。この「路上禁煙地区」を、広く区民に周知するため、ホームページへの掲載、駅頭キャンペーンなどを継続的に実施しています。

歩きタバコやポイ捨てなどの迷惑喫煙を防止するためには、喫煙者のマナーアップを推進する必要があります。それには、地域全体での理解と協力が何よりも大切です。そこで板橋区では、ボランティアからなる「板橋区喫煙マナーアップ推進員」制度を2005（平成17）年6月に創設しました。この制度は、参加者の熱意とボランティア精神に支えられており、87名（平成31年3月31日現在）の推進員が、各地域で、吸い殻の清掃活動

などに積極的に取り組んでいます。この結果、「路上禁止区域」内では、歩きタバコや吸い殻のポイ捨て件数の減少がみられています。しかし、板橋区全体ではまだ歩きタバコなどの迷惑喫煙があるため、2005（平成17）年10月1日に「板橋駅・新板橋駅周辺」「ときわ台駅周辺」「高島平駅周辺」の3地区を、2006（平成18）年10月1日に「東武練馬駅周辺」を、さらに2009（平成21）年5月1日に「志村坂上駅周辺地区」を路上禁煙地区に指定しました。現在、乗降客数の多い主要な8駅周辺を路上禁煙地区に指定しており、この8地区を中心として喫煙者のマナー向上を推進しています。



■ 喫煙マナーアップ推進員（ボランティア）

3 エコポリス板橋環境行動会議



■ 喫煙マナー推進員（区委託職員）

板橋区は、2001（平成13）年10月、環境活動を行っている各種の組織を網羅した全区的な民間主導の組織「エコポリス板橋環境行動会議」を設立しました。会議は、学識経験者、団体代表者、地区環境行動委員会代表者、区職員で構成されています。

■ 2018（平成30）年度活動方針

「エコポリス板橋環境行動会議」は、委員相互の緊密な連携のもとに、広く区民等に対して、環境保全・環境美化に関する普及啓発、環境情報の提供、環境活動に対する支援などを行うとともに、下記事項に重点を置いて、区民、団体、事業所、行政と連携した多様な取り組みを推進していきます。

- ① 地域清掃及び環境美化の推進に取り組みます。（春・秋の板橋クリーン作戦）
- ② ごみのポイ捨て防止の推進に取り組みます。（ポイ捨て防止キャンペーン）
- ③ 地球温暖化対策に取り組みます。（CO₂削減区民運動「エコライフウィーク」）
- ④ むだをなくし、ごみの減量、省エネの推進に取り組みます。
- ⑤ 環境基本計画2025の推進に取り組みます。

(1) エコポリス板橋環境行動会議 区内統一行動

「エコポリス板橋環境行動会議」では、区民の環境美化意識を高め、自主的な環境美化活動の輪を広げていくため、統一的な活動方針を定め、エコポリス板橋地区環境行動委員会への補助金を交付しています。全区の統一行動として展開する活動は、①春の板橋クリーン作戦②秋の板橋クリーン作戦③ポイ捨て防止キャンペーン④板橋クリーン作戦ごみ拾い選手権⑤打ち水キャンペーン⑥CO₂削減区民運動「エコライフウィーク」の6つです。

(2) 2018（平成30）年度の取組結果

① 春の板橋クリーン作戦の実施 （5月19日～6月3日）



■ 春・秋の板橋クリーン作戦

私たちのまち板橋を、ポイ捨てのないきれいなまちにしていくために、全区的統一環境行動として「板橋クリーン作戦」を実施しました。この作戦は、事前に参加者団体を募集し、実施期間中の都合の良い日に清掃・美化活動を行ってもらうことで、区民一人ひとりの環境美化意識の向上及び自主的な環境美化活動の輪を広げることを目的としています。期間中、250団体、10,186人が参加し、美化活動を行いました。

② 秋の板橋クリーン作戦の実施 (11月1日～30日)

「春の板橋クリーン作戦」に続く、全区的統一清掃活動として事前に各団体・事業者、区民に参加を呼びかけ、実施期間中の都合のよい日に「秋の板橋クリーン作戦」を実施しました。期間中、240団体、10,250人が参加し、清掃活動を行いました。

③ ポイ捨て防止キャンペーン (12月1日～9日)

ごみのポイ捨てが多く、不特定多数の人が行き来する駅周辺等でポイ捨て防止キャンペーンを実施することにより、区民一人ひとりの環境美化意識を高め、板橋区をポイ捨てのないきれいなまちにすることを目的として実施しました。区民の皆さんへポイ捨て禁止を訴えるだけでなく、事業所・店舗周りの清掃や従業員への美化意識の啓発・指導などを盛り込んで呼びかけました。期間中、64団体、1,202人が参加し、キャンペーン活動を行いました。

④ 板橋クリーン作戦ごみ拾い選手権 (2月23日)

環境美化に関する興味関心を持ってもらうため、チーム毎に集めたごみの重さや本数を競うイベントです。清掃活動をより楽しくするために、ゲーム性を持たせ、特に若い世代の人々を清掃活動へ呼び込むことを目的として2013（平成25）



■ ごみ拾い選手権

年度より実施しています。2018（平成30）年度の参加者数は26人でした。

⑤ 打ち水キャンペーン (7月14日～9月2日)

地球温暖化防止及びヒートアイランド緩和のための活動の一環として、夏季に打ち水キャンペーンを実施しています。期間中、112団体、4,906人が参加しました。



■ 打ち水キャンペーン

⑥ CO₂削減区民運動（エコライフウィーク）

2006（平成18）年度から、夏季・冬季それぞれ一週間を「エコライフウィーク（重点啓発週間）」とし、CO₂削減区民運動を展開しています。エコライフウィークの間は、アクション9（138ページ参照）の啓発や、エコライフフェアなどを開催しています。

4 エコポリス板橋地区 環境行動委員会

地区における環境行動組織として、板橋区各地域センターの所管区域を単位として、地域内の各種の組織、事業所、商店及び個人で構成する民間組織「エコポリス板橋地区環境行動委員会」を設立しました。役割として、構成員間の情報交換や連絡調整を行って、地域の統一行動につなげていく環境行動組織です（18地区委員会）。

地区環境行動委員会の活動内容

- 清掃活動（クローズド作戦等）
- 違反広告物パトロール
- びん・缶収集活動
- 研修会
- 普及啓発活動
- Kids環境学習会
- 講演会
- フリーマーケット
- ポイ捨て防止キャンペーン

これまで、個々の団体ごとに行われてきた清掃やリサイクル等の環境活動が、組織的な連携の場を持つことにより、一層活発化し、エコポリス板橋を実現することを目的としています。

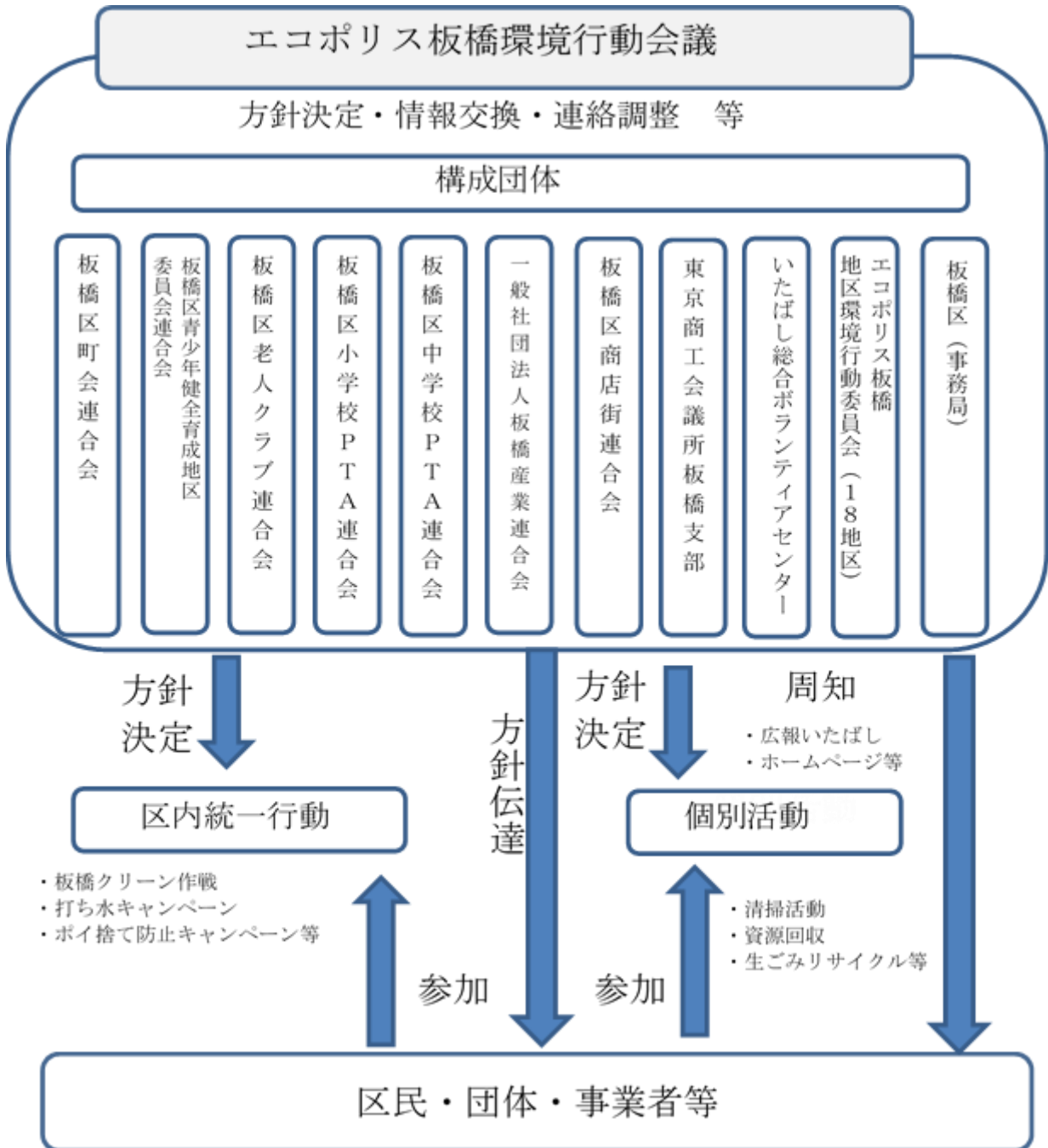


図2-6-2 エコポリス板橋環境行動会議イメージ

5 エコポリス板橋環境活動大賞

板橋区は1999（平成11）年11月に板橋区環境保全賞を創設しました。これは、1998（平成10）年10月に制定した「エコポリス板橋クリーン条例」に基づく顕彰制度と、1979（昭和54）年から行ってきた「板橋区環境保全推進優良事業所及び優良公害防止管理者感謝状贈呈要綱」の二つの制度を統合し、「板橋区環境保全賞」として、環境問題に積極的に取り組み、努力されている方々に対し表彰を行ってきました。

しかし、環境保全賞の創設当時と比べると、区民や団体、企業等の環境に対する変化・向上により、様々な環境活動が実施されるようになりました。また、2009（平成21）年3月に「板橋区環境基本計画（第二次）」が策定され、取り組むべき環境施策が具体化されました。ついで、区民や団体、企業等の「エコライフスタイル」を支援し、区政の環境シフトを実現し、環境戦略に基づく施策の総合化を推進するため、従来の「環境保全賞」をリニューアルし、「エコポリス板橋環境活動大賞」として2011（平成23）年度より実施しています。

6 区民団体における取り組み

エコポリスセンターでは、1995（平成7）年の開設以来、環境活動を行う個人・団体等の支援や、指導者養成事業により、環境について行動できる人づくりに力を入れてきました。現在では、館が行う事業の受託者や講師としても活躍している団体もあり、イベント時の出展や体験コーナー等を通じて、来館者との交流も深めています。なお、2018（平成30）年度末現在、エコポリスセンターを中心に活動している登録環境団体は、（表2-6-1）のとおりです。

自主的な活動は着実に進展しつつありますが、団体内の人材の確保や世代交代など多くの課題が残っています。今後とも、積極的に活動団体等の人材育成を図っていく必要があります。



■エコポリス板橋環境活動大賞

表2-6-1 2018（平成30）年度エコポリスセンターに登録されている環境団体

名 称	活 動 内 容
エコ紙漉きはがき 絵の会	牛乳等の飲料紙パックを利用してはがきやしおりを漉き、有効利用のため水彩画や押し花、はり絵の工作を行います。
手づくり広場	不要となった浴衣・シーツ・手ぬぐい等を再利用して「布ぞうり作り」を指導します。
裂織りの会	裂織りを知ってもらうために、作品作りや体験者をいつでも受け入れています。また、区やエコポリスセンターの事業にワークショップで参加しています。
NPO法人 いた・エ コ・ネット	再生可能エネルギー利用の普及、省資源省エネルギーや地産地消及び5Rの推進、区内自然環境の調査及び保全をしています。また、区内の自然まちづくりに関する認識を深め、人と自然の調和のとれた循環型街づくりを広げていく活動を行います。
板橋剪画（切絵） 同好会	環境に優しい和紙を使って剪画（切絵）を楽しみます。剪画技術の向上を図り、会員相互の親睦を深め、地域社会に寄与します。和紙を使って、自分達の生活環境や周辺の草花などをじっくり観察しながら作品を創り上げます。黒和紙を使いモノクロの世界を表現し、技術の継承をめざします。
板橋子どもの科学 を推進する会	児童のサイエンス指導を、年間10回実施します。児童人数は各回25名、理科教師OB・OGがボランティアで指導しています。
こより絵虹の会	子どもたちがこより絵を体験することで紙の大切さを知り、また新聞紙から絵ができることでエコを実感することが目的です。日本の伝統文化でもあるこよりについて伝え、昆虫等を作成することで手わざの楽しさを伝えています。
環境を考え行動す る市民グループ 「ぼんぷ」	毎月第三木曜日、まなぽーと大原（大原生涯学習センター）にて古着交換会を実施しています。また、夏期には親子講座を実施し、年2回会員の親睦を図る食事会、近隣散策も行っています。
生ごみリサイクル 全国ネットワーク ・板橋	環境に負荷を与えない「資源循環型社会」に向けて、食品ロスを出不さない生ごみの堆肥化やごみ減量を推進しています。大切な有機質資源の有効利用を訴えるため、ベランダや庭でできる「生ごみの堆肥」の作り方、上手なコンポスト容器の使い方等に関する講習会・展示会等を開催します。
リフォームクラブ	不用になった和・洋生地、傘等からのリフォーム制作づくり等を実施しています。

植物画を描く会	板橋区内の野草、樹木を観察、経年変化を観察し植物画を描いています。2006（平成18）年に「板橋の野草たち」という本を赤塚公園自然観察会と共同で出版し、区内小、中学校、図書館に寄贈しました。毎月第二土曜日には、エコポリスセンターにて植物画教室を開催し、毎年3月には、区立赤塚植物園で植物画展も開催しています。
新婦人絵手紙サークル	ハガキはもとより、扇子、うちわ、大きな和紙等を使い、自然の花や植物、野菜を題材に取り入れ、作品を製作します。色々な場所で展示することで、観てくださる方々が穏やかに幸せを感じることができるよう努力しています。また、「環境なんでも見本市」「夏休みエコスクール」等にも参加しています。
おもちゃの病院板橋	エコポリスセンター内で「おもちゃの病院」を運営しています。エコポリスセンターで要請されるイベントへの参加や、地域における親子の会話からおもちゃの病院普及活動をし、会員相互の親睦に関するも行っています。
おもちゃの病院エコポリス	区内各地域における保育園・児童館・学校・公共施設等に出向き「おもちゃの病院」普及活動・運営を図っています。いろいろな団体と協力して協働の立ち位置で活動し、会員相互の親睦に関するも行っています。また、「日本おもちゃの病院協会」等からの各種情報の取得及び提供を行っています。
グループけやき	前野町一丁目けやき公園の「生きている公園」としての継続・維持・管理・整備活動を行います。地域活動主力としたイベントを開催し、会員相互の親睦に関するも行っています。また、ネットワークを広め、環境イベント活動に積極的に参加しています。
NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア	環境学習各種プログラムの開発と実施（幼児～成人）をしています。また、SOEニュース毎月発行（第二日曜日午後）と配布（3500部）を行い、毎月第四日曜日午後には、環境プログラム開発と体験会を行っています。
いたばし水と緑の会	身近な自然をテーマに1997（平成9）年から活動し、野生の動植物が生活する場所（ビオトープ）を作り、維持管理調査、清掃等を行っています。区立美術館横のトンボ池、赤塚城址バッタ広場、前野町にある日暮台公園で身近な生き物、植物に出会い、命の不思議を体験し、自然を楽しみ、保全する活動です。会報「みずみどり」を年6回発行し、ホームページでも紹介しています。
みどりの手	都立赤塚公園城跡地区の観察及び手入れなどを行っています。活動エリアは、①雑木林の復活プロジェクトサイト ②ジロボウ斜面 ③ウラシマソウエリア ④ギンランエリア ⑤ジロボウ南斜面 ⑥アカ道保護柵です。また、「赤塚公園友の会」に参加して他団体と協力しながら、「ニリンソウ観察デイ」「クリーンアップデイ」などの会と

	して取り組み、「ニリンソウを保存する会」の要請で、ニリンソウ自生地、八丁目東エリアなどの手入れにも会員有志が協力してきました。
エコポリス板橋環境行動委員会前野町四丁目支部	エコポリス板橋環境行動委員会に属し、春秋の板橋クリーン作戦及びポイ捨て防止キャンペーン等で、地区内の環境整備を積極的に推進しています。また、緑のカーテン育成講習会、合同施設見学会、環境講演会に参加し、暮らしやすい環境達成をめざしています。さらに、資源ごみ回収によりごみの減量を積極的に推進しています。
和紙ちぎり絵の会	和紙の特徴、色を生かして、手で形をちぎりながら、のりでボードに貼り、作品を作ります。
撃弾家族（げきだんいあみりあ）	演劇を通して1人でも多くの方に環境問題の事を知ってもらうため、ボランティア活動をしています。再資源材料を用いて環境負荷を減らした舞台を創っていきます。
板橋区の蝶を観察する会	板橋区内の蝶の生態調査を行っています。